

福祉ボランティア活動実践校事業及び  
地域ぐるみボランティア活動推進事業

# 平成25年度 活動集



ふれあいネットワーク



社会福祉  
法人

甲府市社会福祉協議会

甲府市ボランティアセンター

# は じ め に

近年、少子高齢化や地域でのつながりの希薄化など、社会が抱える課題が山積みしている中、次代を担う子どもたちに対する福祉教育の推進は社会全体で取り組んでいかなければならない課題であります。

一方、ボランティア活動に対する関心は一層高まり、その活動領域も福祉活動、環境保護、災害支援活動などあらゆる分野に広がっています。

こうした中、甲府市社会福祉協議会では、学校が主体となり、児童や生徒の社会福祉への理解を深め、ボランティア精神を養うことを目的に「福祉ボランティア活動実践校事業」と地区社会福祉協議会が主体となり地域と学校、関連団体が連携して進める福祉教育やボランティア活動を行う「地域ぐるみボランティア活動推進事業」を実施しております。

「福祉ボランティア活動実践校事業」は、平成24年度から3年間ですべての甲府市立小・中・高等学校を指定させていただき、児童や生徒の心豊かな人間形成と活動を通じての福祉ボランティアへの関心と意識の醸成を支援する事業です。

この度、平成25年度の「福祉ボランティア活動実践校事業」及び「地域ぐるみボランティア活動推進事業」の取り組みをまとめた活動集を作成いたしましたので、各学校での今後の活動の一助としていただければ幸いです。

結びに、本事業の推進にご支援・ご協力をいただきました関係者及び関係団体の皆様方に心から感謝申し上げますとともに、今後とも温かいご指導とご協力をお願い申し上げます。

平成26年5月

社会福祉法人 甲府市社会福祉協議会

会 長 佐 藤 健

# 目 次

|                                      |   |
|--------------------------------------|---|
| 甲府市社会福祉協議会 福祉ボランティア活動実践校事業実施要領 ..... | 1 |
| 福祉ボランティア活動実践校一覧 .....                | 3 |

## 【福祉ボランティア活動実践校事業】（50 音順）

|                             |    |
|-----------------------------|----|
| ① 甲府市立相川小学校 .....           | 4  |
| ② 甲府市立池田小学校 .....           | 5  |
| ③ 甲府市立石田小学校 .....           | 6  |
| ④ 甲府市立伊勢小学校 .....           | 7  |
| ⑤ 甲府市立国母小学校 .....           | 8  |
| ⑥ 甲府市立里垣小学校 .....           | 9  |
| ⑦ 甲府市立玉諸小学校 .....           | 10 |
| ⑧ 甲府市立千塚小学校 .....           | 11 |
| ⑨ 甲府市立東小学校 .....            | 12 |
| ⑩ 甲府市立湯田小学校 .....           | 13 |
| ⑪ 甲府市立東中学校 .....            | 14 |
| ⑫ 甲府市立南中学校 .....            | 15 |
| 地域ぐるみボランティア活動推進事業実施要領 ..... | 16 |

## 【地域ぐるみボランティア活動推進事業】

|                            |    |
|----------------------------|----|
| 伊勢地区社会福祉協議会 .....          | 18 |
| 甲府市ボランティアセンターの紹介 .....     | 21 |
| 甲府市ボランティアセンター実施事業の紹介 ..... | 23 |
| 福祉講話講師の紹介 .....            | 24 |
| 高齢者疑似体験セットの紹介 .....        | 25 |

# 甲府市社会福祉協議会 福祉ボランティア活動実践校事業

## 実 施 要 領

### 第1 目的

この要領は、児童・生徒の社会福祉への関心と理解を高め、ボランティア精神を養うため、家庭や地域に開かれた福祉教育と地域に根差したボランティア活動の実践を行う福祉ボランティア活動実践校事業の実施について、必要な事項を定める。

### 第2 実施主体

実施主体は、社会福祉法人甲府市社会福祉協議会（以下「市社協」という。）とし、次のとおり活動を行う。

### 第3 事業

- （1）「福祉ボランティア活動実践校」（以下「実践校」という。）相互の連絡調整や情報交換を図るための「連絡会議」の開催
- （2）事業推進に必要な資料、情報の提供
- （3）事業の取り組み内容の公開（ホームページ等）
- （4）その他事業の効果的な推進を図るために必要なこと

### 第4 実施の期間

事業の期間は、平成24年度から平成26年度までとする。

### 第5 実践校の指定

実践校の指定は、甲府市立の小・中学校並びに高等学校とし、事業期間中一度に限り指定を受けるものとする。

### 第6 助成金

実践校への助成金は、市社協の予算の範囲内で、1校につき5万円を限度とする。

2 指定校への助成は、別に定める事業計画による。

### 第7 助成金の申請

助成金を受けようとする実践校は、次の書類を市社協会長に提出する。

- （1）福祉教育推進実践校事業助成金申請書（第1号様式）
- （2）福祉教育推進実践校事業事業計画・予算書（第2号様式）

### 第8 実践校の活動

実践校は、目的達成のためにそれぞれの地域及び実践校の実情に合わせて、別紙「活動の例示」を参考にした活動を行う。

### 第9 実績の報告

実践校は、事業年度終了後20日以内に、実績報告書（第3号様式、第4号様式）及び収支決算書（第5号様式）を市社協会長に報告しなければならない。

### 附 則

この要領は、平成24年4月1日から施行する。

## 別紙「活動の例示」

### ○広報・啓発活動

- ・講演会、上映会、展示会等の開催
- ・学校新聞等の作成、配付及びホームページへの掲載

### ○調査・研究活動

- ・ねたきり老人調査、まちづくり点検活動、自然環境調査、災害時等に関する地域環境調査

### ○体験学習等を目的とした実践活動

- ・小地域ネットワークへの協力及び社会福祉施設等への訪問・交流活動
- ・地区社会福祉協議会など地域内の社会福祉関係機関・団体との交流活動
- ・体育祭・文化祭等学校行事への高齢者、障がい児者の招待
- ・地域社会への奉仕活動
- ・高齢者や障がい児者のための用具等の創作・制作活動
- ・国際及び環境問題への取り組み
- ・福祉講話の実施
- ・高齢者擬似体験セット、車椅子等福祉体験用具の活用
- ・花、野菜の栽培
- ・古切手及び牛乳パック、エコキャップ、使用済テレホンカード等の収集

### ○社会福祉関係行事への参加

- ・ふれあいチャレンジフェスタ、ボランティア交流会・ボランティア博、ボランティア関係講座、赤い羽根共同募金への協力 等

### ○実践校等相互の交流

### ○その他、社会福祉に関する活動

# 福祉ボランティア活動実践校事業 指定校 【平成24年度～26年度実施】

【H24.4.16 現在】

| 指 定 数 | 学 校 名       | 指 定 年 度 |        |        |
|-------|-------------|---------|--------|--------|
|       |             | 平成24年度  | 平成25年度 | 平成26年度 |
| 1     | 善 誘 館 小 学 校 | ○       |        |        |
| 2     | 山 城 小 学 校   | ○       |        |        |
| 3     | 大 国 小 学 校   | ○       |        |        |
| 4     | 千 代 田 小 学 校 | ○       |        |        |
| 5     | 新 紺 屋 小 学 校 | ○       |        |        |
| 6     | 北 東 中 学 校   | ○       |        |        |
| 7     | 北 西 中 学 校   | ○       |        |        |
| 8     | 城 南 中 学 校   | ○       |        |        |
| 9     | 甲 府 商 業 高 校 | ○       |        |        |
| 10    | 大 里 小 学 校   | ○       |        |        |
| 11    | 甲 運 小 学 校   | ○       |        |        |
| 12    | 新 田 小 学 校   | ○       |        |        |
| 1     | 池 田 小 学 校   |         | ○      |        |
| 2     | 石 田 小 学 校   |         | ○      |        |
| 3     | 湯 田 小 学 校   |         | ○      |        |
| 4     | 伊 勢 小 学 校   |         | ○      |        |
| 5     | 国 母 小 学 校   |         | ○      |        |
| 6     | 東 小 学 校     |         | ○      |        |
| 7     | 相 川 小 学 校   |         | ○      |        |
| 8     | 千 塚 小 学 校   |         | ○      |        |
| 9     | 東 中 学 校     |         | ○      |        |
| 10    | 南 中 学 校     |         | ○      |        |
| 11    | 里 垣 小 学 校   |         | ○      |        |
| 12    | 玉 諸 小 学 校   |         | ○      |        |
| 1     | 貢 川 小 学 校   |         |        | ○      |
| 2     | 中 道 南 小 学 校 |         |        | ○      |
| 3     | 中 道 北 小 学 校 |         |        | ○      |
| 4     | 北 新 小 学 校   |         |        | ○      |
| 5     | 羽 黒 小 学 校   |         |        | ○      |
| 6     | 舞 鶴 小 学 校   |         |        | ○      |
| 7     | 朝 日 小 学 校   |         |        | ○      |
| 8     | 西 中 学 校     |         |        | ○      |
| 9     | 富 竹 中 学 校   |         |        | ○      |
| 10    | 南 西 中 学 校   |         |        | ○      |
| 11    | 笛 南 中 学 校   |         |        | ○      |
| 12    | 上 条 中 学 校   |         |        | ○      |
| 13    | 北 中 学 校     |         |        | ○      |
| 合 計   |             | 12      | 12     | 13     |

# 【福祉ボランティア活動実践校事業】

## 1 甲府市立相川小学校

### 1 主要行事

| 年月日      | 行 事 名                                        | 年月日    | 行 事 名                    |
|----------|----------------------------------------------|--------|--------------------------|
| 通年       | 古切手回収、ペットボトルキャップ回収、奉仕タイム（5・7・12月）、白鳥の世話（5年生） | 11月    | 歳末助け合い運動（募金・タオル・石けん回収など） |
| H25.4.12 | 白鳥当番引き継ぎ式                                    | 11.23  | 甲府市青少年美化活動               |
| 6月       | 白い杖・車いす体験                                    | 12.10  | 尚古園訪問                    |
| 6.3      | 親子クリーンアクション                                  | H26.1月 | 書き損じ葉書回収                 |
| 9月       | 福祉の心を育てる<br>高齢者と児童の手紙交換事業                    |        |                          |

### 2 取り組み事例

#### （1）花の栽培

「校内を花でいっぱい」の合言葉のもと、飼育栽培委員、福祉委員会の児童が協力して活動を行いました。飼育栽培委員が種まきや栽培のリーダーシップをとり、福祉委員が花を採集し、ドライフラワーや押し花を作りました。このようにしてできあがった品は、年末年始に訪問した高齢者福祉施設に持っていき、高齢者の方々にプレゼントしました。大変喜んでいただき、訪問した児童にとっても心ふれあう貴重な時間になりました。



#### （2）高齢者福祉施設訪問

福祉委員会の児童が尚古園を訪問しました。歳末助け合い運動で集めたものをお渡しし、一緒にお話しして楽しく交流することができました。

絵や習字のプレゼントをお渡ししながら高齢者の方々の中に入り、和やかな雰囲気の中でふれあいの時間をもつことができました。大変喜んでいただき、児童の心にも温かい気持ちが残ったようでした。

純粋な気持ちで交流することを通し、思いやりの心をもつことができた有意義な訪問となりました。



### 3 一年間の評価と課題

本校では福祉委員会の取り組みにより、福祉活動が定着してきています。今年度は白い杖、アイマスク、点字、車いす体験を行い、障がいをもった方々の気持ちを考えたり、自分たちにできることを考えたりすることができました。これからは考えたことが自然に実践できる心を育み、また、福祉委員会の活動を新聞やポスター等で知らせることにより、全校に「福祉の心」をさらに広げていきたいと思いをします。



## 2 甲府市立池田小学校

### 1 主要行事

| 年月日   | 行 事 名                                                          | 年月日      | 行 事 名                            |
|-------|----------------------------------------------------------------|----------|----------------------------------|
| 通年    | 甲府支援学校との同学年交流及び共同学習、<br>盲学校教科交流及び共同学習、美化委員会と<br>地域の方による花いっぱい運動 | 11. 9    | 土曜参観にて福祉講話<br>(4年生と保護者)          |
| 9.28  | 盲学校児童、本校秋季大運動会参加                                               | 11.14    | 福祉講話(4年生)                        |
| 10.31 | 盲学校見学、点字・共用品の学習及び白杖体<br>験(4年生)                                 | 12. 4    | 地域の高齢者の方々と昔の遊び大会(1年生)            |
|       |                                                                | H26.1.22 | 地域の食生活改善推進委員会の方々とほう<br>とう作り(6年生) |

### 2 取り組み事例

#### (1) 昔の遊び大会

地域の老人クラブの方々42名に来て頂き、1年生に昔の遊びのめんこ・こま・あやとり・かるた・けん玉・福笑い・お手玉等の遊び方を教えていただきました。子どもたちは遊び方が分かったと上達も早く、楽しんでいました。教えて頂く中で高齢者の方々とふれあえる有意義な時間が持てました。



#### (2) 福祉講話

4年生の総合学習では、盲導犬の役割やふれあう時に注意することなど盲導犬を連れている視覚障がいの方の日常生活についてお聴きし、終了後には盲導犬とふれあうこともできました。後日の土曜参観では保護者と児童で肢体不自由の方から障がい者の思いや理解について講話をいただき、親子で福祉講話を聴くことができました。



#### (3) 美化委員会

地域の社会福祉協議会の方3名に教えて頂きながら美化委員会の児童が中心となり、夏と秋の2回、プランターにビオラや松葉ボタンを植えました。校内に花いっぱい運動の推進を行い、全校で花を見て楽しむことができました。また、美化委員会の児童は花がきれいに咲くように、水やりや追肥をしました。

#### (4) ほうとう作り

地域の食生活改善推進委員会の方々20名に講師として来て頂き、6年生と山梨県の食材を用いての郷土料理「ほうとう」を調理する活動を通して、郷土に愛着を持ち、大切にする姿勢を育てるとともに、地域の方々との交流を深めることができました。

### 3 一年間の評価と課題

池田小では福祉教育で「交流及び共同学習やボランティア活動を通して、心身に障がいを持った人や高齢者などに対して思いやりのある子どもを育てる」ことを目標として、様々な活動を計画し、取り組んできました。特に20年以上続いている甲府支援学校や盲学校及び本校特別支援学級との交流及び共同学習では、障がいをもった友達を知り、自然なふれあいができるようになってきていると感じます。また、上記のような福祉活動を計画的に積みかさねることで地域の幼児や高齢者の方々とふれあいを多く持つ機会を持つことが児童の福祉の心を育てるにあたって大切であるため、今後も計画的に教育課程に入れながら福祉教育の積み重ねをしていきたいと思っています。



### 3 甲府市立石田小学校

#### 1 主要行事

| 年月日   | 行 事 名                    | 年月日  | 行 事 名                                 |
|-------|--------------------------|------|---------------------------------------|
| 通年    | あいさつ運動、ペットボトルキャップ回収、ごみ拾い | 12月  | 愛町奉仕作業<br>募金活動<br>(赤い羽根共同募金・歳末助け合い募金) |
| 7月    | 古切手回収、愛町奉仕作業             | 12.4 | 福祉講話（3年生）                             |
| 9.18  | アイマスク体験（4年生）             | 1月   | 古切手・書き損じ葉書回収                          |
| 10. 4 | 福祉講話（4年生）                |      |                                       |

#### 2 取り組み事例

##### （1）福祉学習会（4年生）

##### ① 学習会までの活動

子どもたちは、アイマスク体験を通して目からの情報が得られないことがどのようなことかを身をもって学び、そのことによる日常生活の不便さに気づく学習を行いました。また、国語の学習を通して点字について学び、簡単な点字を読んだり打ったりする体験をしました。学習会の前には、点字で打った自己紹介文を講師の市瀬さんに送りました。

##### ② 当日の活動

盲導犬のオーブを傍らに日常生活や点字の歴史について教えていただきました。目の不自由な人のために開発された様々な機械も紹介していただきました。視覚障がいとは思えない市瀬さんの生活の幅の広さに子どもたちもびっくりしていました。盲導犬の一生についても話していただき、最後にはハーネスをとったオーブとふれあうこともでき、子どもたちは感激していました。

また、視覚障がいの方がご自分で撮った「点字ブロックの上に置かれている障害物」などの写真を見せていただく中で、子どもたちはバリアフリーが叫ばれている社会の中で、気をつけなければならない大切なことを知ることができ、お話を聞いたり質問したりする中でたくさんのことを学ぶことができました。



#### 3 一年間の評価と課題

福祉講話を行うことで、話を聴いたり見たり体験したりすることができました。障がいをもった方の生活や仕事の様子など、苦勞を知ることができました。また、それまで調べてきたことを質問したり、自分ができる手助け・自分自身の生活（生き方）について考えたりする学びの場となりました。

この一年間、児童会の呼びかけで、ペットボトルキャップ・書き損じ葉書・古切手回収、募金活動に取り組んできました。その都度、活動の意義を伝え、一人ひとりの意識を高めていくことが大切だと思います。そして、福祉の心（思いやる心）を育てるために、教科・総合的な学習の時間及び道徳とも関連させながら活動を充実させていく必要があると思います。

## 1 主要行事

| 年月日   | 行 事 名                                                                   | 年月日         | 行 事 名                          |
|-------|-------------------------------------------------------------------------|-------------|--------------------------------|
| 通年    | 朝のあいさつ運動、ペットボトルキャップ回収、校内美化活動、愛町・愛校奉仕作業、給食の牛乳パックリサイクル、ボランティアの方による朝の読み聞かせ | 10. 9       | 福祉講話（4年生）                      |
| 7. 11 | 福祉講話（2年生）                                                               | 2学期末        | 助け合い活動、古切手・書き損じ葉書回収、歳末助け合いへの協力 |
| 7. 16 | 児童会による高齢者福祉施設訪問                                                         | H 26. 1. 31 | 昔の遊び大会（1年生）                    |
|       |                                                                         | 2. 25       | 地域の昔と昔の道具（3年生）                 |

## 2 取り組み事例

本校では、福祉教育の目標として「①福祉に関する関心と理解を深めること」、「②福祉の心を育てること」、「③福祉の実践を通して意欲、態度を高め、実践力を身に付けること」を掲げ、道徳や学級活動、生活科、総合的な学習を通して福祉教育に取り組んできました。

## (1) 福祉講話

様々な方と出会い、その生き方や考え方に触れ、自分自身の生活や生き方を見直す機会とすることを目指して福祉講話を行っています。今年度は、聴覚障がい者の藤原和子さんと手話通訳者の尾畑小百合さん、また視覚障がい者の市瀬實さんをお迎えし、その日常生活についての様子や苦労していること、工夫していること等のお話を伺いました。藤原さんには、実際に生活の中で使っている道具をお持ちいただき、また市瀬さんには盲導犬を連れてきていただき、より分かりやすくお話をさせていただきました。子どもたちは興味深く講師の方々のお話に耳を傾けていました。不便なことには工夫を凝らし、明るく生活されている様子を知り、障がいのある方への理解を深めることができました。



## (2) 児童会による高齢者福祉施設訪問

児童会の代表の子どもたちが、地域の高齢者福祉施設「甲府南ライフケアセンター」を訪問し、入所者や利用者の方々と交流しました。児童会活動の紹介と歌の披露、花とタオルのプレゼントを行い、入所者の方々ととても喜んでいただきました。子どもたちも、普段あまり関わることのない高齢者の方々に話しかけたり優しい言葉をかけていただいたりと交流を深めることができ、とても満足した様子でした。



## (3) 地域の方々との交流

1年生の「昔の遊び大会」や3年生の「地域の昔と昔の道具」の学習で、地域の高齢者と交流しました。1年生では、昔の遊び道具を使って一緒に遊ぶ機会を持つことができました。また、3年生では、伊勢地区の戦前の生活のようすや戦争中の苦労、また昔の道具についてのお話を伺うことができました。

## 3 一年間の評価と課題

地域の高齢者の方々とのふれあいや障がいを持った方々、ライフケアセンターの方々などとの交流を通して、子どもたちは様々なことを学ぶことができました。これらの学習を通して、子どもたちは自分について考えること、他者への感謝の気持ちを持つこと、人に役立つことは何かを考えることなど、福祉の心を考える機会を得ることができたのではないかと思います。今後もこうした活動を通して、子どもたちの心に感動を与え、豊かな心や共に生きる力を育む教育活動を継続していきたいと思います。

# 5 甲府市立国母小学校

## 1 主要行事

| 年月日  | 行 事 名                                                          | 年月日     | 行 事 名                  |
|------|----------------------------------------------------------------|---------|------------------------|
| 通年   | ごみゼロ運動・愛校作業、あいさつ運動、ペットボトルキャップ・牛乳パックリサイクル回収、ボランティアの方による読み聞かせの活動 | 10.22   | 福祉講話（1年生）              |
| 6.19 | 青少年赤十字加盟登録式                                                    | 11. 8   | 福祉講話（2年生）              |
| 9月   | 書き損じ葉書・古切手回収                                                   | 11.23   | 荒川河川敷清掃                |
| 9.10 | 環境講話（4年生）                                                      | 12月     | 赤い羽根共同募金               |
|      |                                                                | H 26.1月 | 書き損じ葉書・古切手回収           |
|      |                                                                | 2.10    | 高齢者との交流・シニア体験（3年生）     |
|      |                                                                | 2.13    | 高齢者との交流（昔からの遊び大会）（1年生） |

## 2 取り組み事例

本校は学校教育目標に「夢を持ち 豊かに生きる 子どもの育成」を掲げ、「思いやりのある子ども」の育成をめざして、各教科、道徳、特別活動、総合的な学習の時間を通して福祉教育に取り組んできました。

### （1）環境講話

9月10日に「環境カウンセラー山梨エコティーチャー」の櫻林いさをさん、みのるさんが4年生に地球温暖化や3Rなどの環境問題について、クイズや写真提示を行い説明してくださいました。その後、子どもたちは、各自が興味を持った問題について「総合的な学習の時間」に調べ、学習を進め、新聞にまとめました。

### （2）福祉講話①

10月22日に視覚障がい者で盲導犬ユーザーの吉川勝彦さんが1年生に生活の様子や職業のこと、子どもたちへのお願いについてなどわかりやすくお話してくださいました。また、点字を実際に打つ様子を見せていただいたり、盲導犬とふれあう時間を作ってくださいたりしたので、自分たちとの生活の違いに気がつくことができました。

### （3）福祉講話②

11月8日に聴覚障がい者の藤原和子さんが2年生に生活の中での工夫や悩みについてクイズを取り入れながら、お話してくださいました。さらに子どもたちの質問に快く答えてくださいました。また、教えていただいた「ありがとう」や「拍手」の手話を通して、コミュニケーションの取り方について学び、聴覚障がいのある方への理解が深まりました。



## 3 一年間の評価と課題

今年度も年間を通して福祉教育活動を計画的に行うことができました。一年を通して行っている児童会活動では、ボランティア活動に積極的に参加しようとする気持ちが浸透してきました。また、各学年の発達段階に応じた講師の方にお話を伺うことができたことは、子どもたちにはとても有意義なものとなりました。障がいを持った方や高齢者との交流を通して、自分たちにできることを考えたり、誰に対しても思いやりの気持ちを持って接することの大切さをあらためて学んだりすることができました。来年度もこれらの活動を継続し、子どもたちの心が豊かに育まれるよう福祉教育を充実させていきたいと思います。

## 1 主要行事

| 年月日 | 行 事 名                                                                              | 年月日      | 行 事 名                                               |
|-----|------------------------------------------------------------------------------------|----------|-----------------------------------------------------|
| 通年  | 古切手・テレホンカード・ペットボトルキャップ・書き損じ葉書・牛乳パック回収、校舎内外の朝清掃、愛町奉仕作業、美化栽培委員会花植え、あいさつ運動、学校林活動（5年生） | 11月      | 教育講演会<br>「ぴこの会」読み聞かせ（1～3・6年生）<br>ビューティフル活動<br>秋祭り集会 |
| 6月  | 親子クリーンアクション<br>かえで支援学校との交流（各学年）                                                    | 12月      | 歳末助け合い募金<br>「いのちの授業」（6年生）                           |
| 9月  | ビューティフル活動                                                                          | H 26. 1月 | 竹とんぼ作り（3年生）                                         |
| 10月 | かえで支援学校との交流（各学年）                                                                   |          |                                                     |

## 2 取り組み事例

## (1) 花いっぱい運動

美化栽培委員会を中心に、年間を通じて花の苗植えや手入れを行ってきました。花の少ない冬場には、花の絵や植物を大切にしたいとの願いを書いたしおりを作って、全校生徒に配付しました。

## (2) 教育講演会

学校開放日に、外部から講師を招聘して福祉講話を聴く活動を行いました。今年は身延町出身のシンガーソングライターである岩崎けんいちさんから、カンボジアに学校を建てる活動を行っている様子について、スライドや歌を交えて講演していただきました。

## (3) 秋祭り集会

たてわり班活動の一つとして、班ごとにお店を出し、児童で運営していく「フェスタ里垣2013」を実施しました。高学年の児童が中心となり、全学年が仕事の役割を持って活動に参加することができました。

お店回りの時には、異学年がペアを組んで一緒に楽しむ姿が見られ、保護者や地域の方々にも参加していただき、学校の様子を見てもらうことができました。



## 3 一年間の評価と課題

今年度も児童会活動を中心に、様々なボランティア活動を継続して行うことができました。学校・家庭・地域の交流を通して、来年度も身近なところから続けられるボランティア活動を継続し、児童一人ひとりに思いやりの心を育てていきたいと思います。



## 1 主要行事

| 年月日 | 行 事 名                                                     | 年月日         | 行 事 名            |
|-----|-----------------------------------------------------------|-------------|------------------|
| 通年  | 児童会活動<br>あさかぜ清掃活動<br>ゴミゼロ活動<br>募金、書き損じ葉書・ペットボトルキャップ・古切手回収 | 6. 3        | 親子クリーンアクション      |
|     |                                                           | 7. 25       | 高齢者福祉施設「トリアス」訪問  |
|     |                                                           | 11. 21      | 福祉講話「発達障がいの方の講話」 |
|     |                                                           | H 26. 1. 14 | 高齢者福祉施設「へいりん荘」訪問 |

## 2 取り組み事例

## (1) 高齢者福祉施設訪問

高齢者福祉施設訪問として児童・保護者・教員とでトリアスとへいりん荘へ行ってきました。今年の活動内容は、うちわ作りを行いました。高齢者の好みのうちわを作ることを中心に活動するのですが、高齢者の手先の器用さには脱帽でした。家に高齢者のいないご家庭では、めったにない貴重な経験に心温まるものがあったようです。



1月には、ボランティア委員会の児童がへいりん荘を訪問し、カレンダー作り、リコーダー演奏、なぞなぞ、マジックなどを通して楽しく交流しました。



## (2) 福祉講話

毎年恒例の行事となり、お互いに楽しみにしています。11月21日には、発達障がい乗り越えて活動しているマリナーズさんの演奏と講話を聴きました。障がいがあっても生きがいを見つけ、毎日楽しく暮らしていこうとするマリナーズさんから、心温まるメッセージや勇気をいただきました。全校児童と一緒に歌った「おどるポンポコリン」、「やさしさにつつまれたなら」、「未来」の曲は心に強く残りました。



## (3) 回収活動

ペットボトルキャップ回収は、恵まれない子ども達にワクチンを贈ると共に、二酸化炭素削減計画にも協力することができました。古切手や使用済みテレホンカード回収では、フィリピンの子ども達に救援物資を送るための費用として役に立ててもらいます。



## 3 一年間の評価と課題

今年度も、年間を通して様々な福祉教育活動を計画的に展開してきました。長年続けている日常的な取り組みを通して、ボランティア活動に関わっていこうとする姿勢が子どもたちの中に育ってきています。また、福祉講話集会を通して、人と人との出会いやつながり、自分を大切にすること、そして他の人への気持ちを思い遣る心が少しずつ育ってきているように思います。今後もこれらの活動を継続し、思い遣る気持ちを育てていきたいと考えています。今年は甲府市社会福祉協議会の指定を受け、福祉ボランティア活動実践校事業を行っていますが、今後も「児童に社会福祉への理解と関心を高め、ボランティア精神を養うとともに、命の大切さについて考える機会とする」ことを目標にして心育をしていこうと考えています。

## 1 主要行事

| 年月日 | 行 事 名                                                          | 年月日         | 行 事 名          |
|-----|----------------------------------------------------------------|-------------|----------------|
| 通年  | ペットボトルキャップ・書き損じ葉書・古切手・使用済みテレホンカード回収、道徳授業参観、赤い羽根共同募金、歳末助け合い募金活動 | 9. 7        | 福祉講話（3年生）      |
|     |                                                                | 9. 17       | 福祉講話（4年生）      |
|     |                                                                | 10. 10      | 「NAC湯村」訪問（5年生） |
|     |                                                                | H 26. 1. 30 | 昔のあそびの大会（1年生）  |

## 2 取り組み事例

## (1) 4年生の福祉講話

4年生は9月17日に、視覚障がいの方に講師として来ていただき、普段の生活で困っていることなどのお話をしていただきました。食事の事、起きてから外出時間までの事、料理の仕方の事など日常についての様々なお話を伺う中で、講師の方の補助も体験させていただきました。声で時間を教えてくれる時計やボタンを押した瞬間に杖となるものなどの道具も見せていただきました。そんな中から子どもたちは、自分たちにもできることはないか考えることができました。短い時間ではありましたが、自分たちの生活に置き換えながら考えることができ、とても貴重な時間を過ごすことができました。



## (2) 千塚地区老人クラブの方々との交流

1年生は1月30日に「昔の遊び体験」の学習で、地域の32名の高齢者との交流を図りました。竹とんぼ、けん玉、羽根つき、お手玉など12種類の昔の遊びを教えてください、一つの遊びが20分位でとても短い感じがしましたが、子どもたちは、どの遊びも夢中になって楽しく交流し、折り紙ではたくさんのお土産までいただきました。その後、給食も3クラスに入って、最初は緊張もありましたが、だんだん和やかに会話をしながら話も弾み、どの子も満足げな嬉しい笑顔がいっぱい見られました。「また来てください」と名残惜しそうにお別れをして、大変楽しい一日を過ごすことができました。その後、お礼のお手紙を書き、感謝の気持ちを伝えました。



## 3 一年間の評価と課題

今年度は、各学年の実態に合わせた福祉活動を行うことができました。さまざまな福祉講話や福祉体験活動を通して、子どもたちの心の育成につながってきています。今後も教科、道徳だけでなく、日常活動の中でも福祉活動を進めていく中で、実際の場面でも活かすことができるような関わり方を考えていきたいと思います。

## 1 主要行事

| 年月日         | 行 事 名                                                                                    | 年月日        | 行 事 名                            |
|-------------|------------------------------------------------------------------------------------------|------------|----------------------------------|
| 通年          | あいさつ運動、赤い羽根共同募金、歳末助け合い共同募金、牛乳パック・古切手・書き損じ葉書・ペットボトルキャップ回収、清掃活動（落ち葉掃き）、国際交流（オーストラリア カリンダ小） | 11.6       | 福祉講話とコンサート（4年生）<br>～マリナーズをお招きして～ |
| H 25. 10. 3 | 体の不自由な人の気持ちを考えよう<br>（4年生：福祉講話と車いす体験）<br>～小池早百合さんをお招きして～<br>白い杖とアイマスク体験、点字の学習             | 12.5       | 耳の不自由な人の気持ちを考えよう<br>（4年生：福祉講話）   |
|             |                                                                                          | 12.6       | 高齢者とのふれあい集会<br>（3年生：体験・交流活動）     |
|             |                                                                                          | H 26. 2. 8 | 昔のあそびをしよう<br>（1年生：高齢者との交流活動）     |

## 2 取り組み事例

本校では、「福祉への関心と理解を深め、ともに生きる心を育み、実践する態度の育成」を福祉教育の目標として、優しい心を育てたり、命の尊さを知ったり、いろいろな人とふれ合って心を磨いたりしていきたいと考え、本年度も取り組んできました。

## (1) 体の不自由な人の気持ちを考えよう

車いすで生活をされている小池早百合さんをお招きしてお話を聴きました。子どもたちは、車いすでの生活を受け入れていろいろなことに挑戦している小池さんの姿に驚きと感動を覚えていました。講話の後、実際に全員が車いす体験をしました。また、終わりには小池さんの自家用車を見せていただき、足の不自由な人のために工夫がされていることにびっくりしていました。

## (2) 耳の不自由な人の気持ちを考えよう

耳の不自由な仁科加代子さんをお招きして、いろいろなお話を聴きました。2歳の時に耳が不自由なことが分かり、それ以来ずっと音のない世界で生活をしている仁科さんですが、明るくて楽しくて表情豊かな仁科さんの手話でのお話は、子どもたちにとってはとても温かいものでした。「音は無くてもその分一生懸命目や心で見ようとする」という仁科さんのお話に子どもたちは頷き、手話への興味が膨らみました。



## 3 一年間の評価と課題

様々な体験や交流活動を通して、子どもたちの世界が少しずつではありますが、広がっていったのではないのでしょうか。そして、自分を見つめ直し、自分にできることは何かを子どもたちなりに考えることができました。福祉は知識的な学習ではなく、「人とふれ合うこと」から始まるものであり、今後も交流と体験を大切にしたい学習活動を学校教育全体の中で進めていきたいと思っています。



# 10 甲府市立湯田小学校

## 1 主要行事

| 年月日    | 行 事 名                                                 | 年月日       | 行 事 名           |
|--------|-------------------------------------------------------|-----------|-----------------|
| 通年     | あいさつ運動、ゴミゼロ運動、ペットボトル<br>キャップ・古切手回収、湯田小ボランティア<br>(6年生) | 12月       | 歳末助け合い運動への参加    |
| 8.31   | P T A 愛校奉仕作業                                          | H. 26. 2月 | 福祉週間            |
| 10～12月 | 落ち葉拾い                                                 |           | 車椅子・アイマスク・高齢者体験 |
| 11. 9  | ふれあい学級<br>(福祉講話 4・5年生)                                | 2.12      | 福祉講話(2・3年生)     |
|        |                                                       | 2.25      | 福祉講話(1年生)       |
|        |                                                       | 2.28      | 湯田小ボランティア引き継ぎ式  |

## 2 取り組み事例

### (1) 福祉講話への取り組み

各学年の発達段階に合わせ、5人の講師を招いてお話をさせていただきました。

1年生：吉川日出子さん(視覚障がい者)

2年生：藤原和子さん(聴覚障がい者)

3年生：角田秀美さん(手話通訳士)

4年生：市瀬英子さん(盲導犬ユーザー)

5年生：橋場みち子さん(脳性まひ)

### (2) 地域のボランティア活動への取り組み

毎年6年生が湯田地区(南甲府駅・総合市民会館・遊亀公園)の清掃活動や放課後児童クラブ、地域の幼稚園に行き、子どもたちと一緒に遊ぶ活動をしています。また、年度末には来年度への引き継ぎに向け、5年生へ活動報告会を行い、3月には5・6年生が合同で実地体験による引き継ぎも行いました。



## 3 一年間の評価と課題

講師の先生を招いてお話を聴き、障がいを抱えている人の悩みや苦勞を知り、自分たちにできることは何かを考える貴重な時間になりました。

また、常時活動を行っている「あいさつ運動」や「ゴミゼロ運動」などの活動を通して思いやりの心を育てることに繋がったように感じます。本校では地域とのつながりが強く、学校教育へのサポートがあるという環境を活かし、継続した取り組みを行っていきたいと考えています。

# 11 甲府市立東中学校

## 1 主要行事

| 年月日      | 行 事 名                          | 年月日      | 行 事 名                       |
|----------|--------------------------------|----------|-----------------------------|
| 通年       | ペットボトルキャップ・プルタブ回収、酒折<br>クリーン活動 | 12月      | 赤い羽根共同募金<br>かえで支援学校との学校間交流② |
| H 25. 7月 | かえで支援学校との学校間交流①                |          | 口と足で描く絵はがき募金                |
| 9月       | 学園祭展示交流                        | H 26. 1月 | 書き損じ葉書・古切手・テレカ回収            |

## 2 取り組み事例

### (1) かえで支援学校との学校間交流

今年も7月と12月に、かえで支援学校との交流を行いました。2時間の活動時間を通して、各クラスで一緒に紙飛行機をつくったり、プレゼントの交換をしたりして、交流を深めることが出来ました。生徒の反省には、今までに関わりがなかった支援学校の生徒と交流し、良い経験となったという感想が多く見られ、実りのある交流になりました。



### (2) ペットボトルキャップ・プルタブ回収

1年間を通してペットボトルキャップとプルタブを回収しました。自分達の生活の中で出るゴミを資源として再利用できること、またその活動において出た資金がワクチンとなって世界中の子どもたちを救えることを知り、多くの生徒がこの活動に積極的に参加してくれました。



## 3 一年間の評価と課題

福祉活動を行っていく中で、1年生の中から「自分達の行っている活動がどのような場面でどのように役に立つのかを知ること、福祉活動に参加する意味が分かった」という意見があがりました。活動の内容や意義を知ること、福祉に対する考え方や積極性も変わるのだと気づかされました。来年度はさらに福祉活動が活発になり、子どもたちの心が育まれていくような福祉教育を展開したいと思います。

# 12 甲 府 市 立 南 中 学 校

## 1 主要行事

| 年月日  | 行 事 名                             | 年月日         | 行 事 名         |
|------|-----------------------------------|-------------|---------------|
| 通年   | ミニクリーン運動、ペットボトルキャップ・古切手・書き損じ葉書の回収 | 12. 3       | クリーン運動        |
| 7. 2 | 南甲府駅の花植え                          | 12. 10      | 南甲府駅の花植え      |
| 12月  | 赤い羽根共同募金                          | H 26. 3. 15 | ペットボトルキャップを寄付 |

## 2 取り組み事例

本校は、J R C 活動が伝統のひとつです。4月にJ R C登録式を行い、全校生徒と職員がJ R C会員としての自覚を持って活動を行っています。主な活動としては、次の3つが挙げられます。

### (1) ペットボトルキャップ・古切手・書き損じ葉書の回収

J R C委員会が中心になって、各クラスで通年回収しました。4月のJ R Cだよりを通じて、どんな目的で回収しているのか、回収したものはどこに送られてどのように役立てられるのかを知ってもらうことで、より活動の輪が広がっていったと思います。今年度は特にペットボトルキャップの回収に力を入れました。学期末ごとに集まった重さとそれがワクチン何人分になるのかを通知し、目標を設定して次への意欲に繋げていきました。



### (2) 南甲府駅のプランターの花植え

昨年度から、学校周辺への花植えを行っており、今年度は南甲府駅のロータリーのプランターに花を植えました。

### (3) クリーン運動、ミニクリーン運動

環境美化委員会が中心となって、毎月1回ミニクリーン運動を行っています。登校時に地域のごみを拾うことで、日頃から地域に目を配り、自分たちの手で地域をきれいに保とうという意識が養われています。また、12月には学校周辺の清掃を行うクリーン

ン活動がありました。放課後の時間を使い、参加希望者を募っての活動ですが、今年度は全校生徒が活動に参加しました。

## 3 一年間の評価と課題

これまでの伝統を引き継ぎ、全校で活動に参加する体制ができています。一人ひとりが目的意識を持って活動に参加していけるように、呼びかけやJ R Cだよりやポスターを活用していくことが有効だと感じました。来年度は、青少年赤十字研究推進校の指定を受けているので、伝統を引き継ぎ、さらに充実した活動を行ってまいります。

# 地域ぐるみボランティア活動推進事業実施要領

## 第1 目 的

少子・高齢化の進展や核家族化問題により、大人も子供もライフスタイルが多様化し、地域社会のつながりが希薄になっていると言われております。

これまで甲府市社会福祉協議会では、命の大切さや地域で共に安心して暮らし続けられる地域社会の再構築や、子供たちを始めとする地域における「福祉のこころ」を醸成するため、学校や地区社会福祉協議会を始めとする関係団体が連携して進める福祉教育の推進やまちづくりを支援することを目的として、山梨県社会福祉協議会指定による「福祉のこころ醸成事業」そして、本協議会独自による醸成事業を単年度で行ってきました。

今までの成果を踏まえ、継続的に福祉教育を推進する事業を地区社会福祉協議会と学校、その他関係団体・機関等が連携して行えるよう支援することを目的として、この要領を定める。

## 第2 実施主体

社会福祉法人 甲府市社会福祉協議会（以下「市社協」という。）とする。

## 第3 推進主体

市社協が指定した地区社会福祉協議会（以下「地区社協」という。）とする。

## 第4 事業内容

（1）指定期間 4月1日から翌年の3月31日まで

（2）指定地区社協数 1年度につき1地区社協

（3）実施内容

### ①福祉教育推進委員会の設置

指定された地区社協は、活動の母体となる福祉教育推進委員会を設置し、実施内容を検討・選択、活動の企画、準備、運営、今後の展開についての検討を行う。

|        |       |            |       |             |
|--------|-------|------------|-------|-------------|
| ○委員構成案 | ア 学校  | イ 教育委員会    | ウ PTA | エ 民生委員・児童委員 |
|        | オ 自治会 | カ ボランティア団体 | キ 企業  | ク 学識経験者     |
|        | ケ 行政  | コ 地区社協     | サ 市社協 |             |

### ②学校との連携による「生命の授業」の実施

### ③地域における福祉教育の取り組み

福祉教育推進委員会が中心となり、学校や地域の関係者と連携して地域における福祉教育の取り組みを図る。

## 第5 助成の申請

地区社協は、第1号様式及び第2号様式を市社協に提出しなければならない。

## 第6 助成金の交付

市社協が指定した地区社協へ助成金を交付する。

## 第7 助成金の経理等

助成金の交付を受けた地区社協は、助成金の経理等を次により処理しなければならない。

- (1) 助成金は、その用途を踏まえて活用すること。
- (2) 助成金は、地区社協予算に計上し収支費目を明確にして会計処理すること。
- (3) 助成金の収支に係る証憑書類（振込通知書、領収書等）を整備しておくこと。

## 第8 助成金額

当該年度の予算の範囲内とする。

## 第9 実績の報告

事業年度終了後20日以内に第3号様式及び第4号様式を市社協に提出する。

## 附 則

この要領は、平成24年4月10日から施行する。



# 【地域ぐるみボランティア活動推進事業】

## 伊勢地区社会福祉協議会

### 1 福祉教育推進委員会

|      |     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|------|-----|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 委員構成 | 20人 | (1) 伊勢小学校校長・教頭・教務主任・福祉教育主任・道徳主任<br>(2) 伊勢地区自治会連合会会長<br>(3) 伊勢地区民生委員児童委員協議会会長<br>(4) 伊勢地区子どもクラブ指導者協議会会長<br>(5) 伊勢小学校父母教師会会長<br>(6) 伊勢地区身体障害者福祉会会長<br>(7) 伊勢地区老人クラブ連合会会長<br>(8) 伊勢地区女性部愛育会会長<br>(9) 伊勢地区食生活改善推進委員会会長<br>(10) 伊勢地区社会福祉協議会会長・副会長・事務局長・事務局次長<br>(11) 甲府市社会福祉協議会地域福祉推進課課長・甲府市ボランティアセンター所長・南ブロック担当地域福祉活動コーディネーター |
|------|-----|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

### 2 地域ぐるみボランティア活動推進事業 実施内容「生命の事業」

|    |                                                                                |
|----|--------------------------------------------------------------------------------|
| 目的 | 学校との関わりを通して、子どもに命の大切さ（食育学習含む）自分の大切さ・家族の大切さ・他者の大切さ・この世に誕生させてくれた親に感謝する気持ちの醸成を図る。 |
| 期間 | H25.10～H26.1                                                                   |
| 場所 | 甲府市立伊勢小学校                                                                      |

#### 【10月15日 「自分を振り返る」】

○協力者 中北保健所・甲府市保健師各1人 ○参加者 5年生61人と保護者  
 命の始まり・胎児の成長の様子・誕生・赤ちゃんを産み育てる大変さ、喜びを話し、命の大切さやこの世に誕生させてくれた親に感謝する気持ちの醸成を図り、疑似赤ちゃんの抱っこを体験しました。

#### ★児童の感想（一部）

- ・この授業を受けて、命の重み、命の大切さをもう一度考え直すことができました。
- ・今回の授業は、ここまで育ててくれたたくさんの人に感謝したいと思うような授業でした。



#### 【10月21日 「好ききらいなく食べよう」】

○協力者 地区食生活改善推進員・地区女性部愛育会 ○参加者 1年生51人

野菜を各児童がホイルに包み、蒸し焼きにしました。出来上がったホイル焼きを地域の方と児童が一緒に食べながら、「命は尊いもの」健康であるためには食べ物に好き嫌いがあるといけないと食育指導を行いました。

#### ★児童の感想（一部）

- ・好き嫌いが多かったけど、これからは命を大事にするために何でも食べるようになります。宇宙が爆発するほどおいしかったです。
- ・苦手なエビやピーマン、パプリカが今日は食べられました。



【12月4日「命の大切さの授業」】

○協力者 地区女性部愛育会・食生活改善推進員会 ○参加者 3年生52人と保護者

地域の方たちと保護者と一緒に「ほうとう」づくりをして、食べ物に対して関心を持たせ、健康で安全な生活について理解を深めました。

★児童の感想（一部）

- ・めん打ち等を自分たちでやって、いろんな体験ができて良かったです。
- ・「ほうとう」はたくさんの野菜を入れて作るので、身体に良いということを知りました。



【平成26年1月10日「命の大切さの授業」】

○協力者 甲府市の保健師 ○参加者 2年生51人

甲府市の保健師から生命の誕生の仕組みと胎児の成長などについて講義を受け、両親の愛情によって生まれ育ったことを理解し、命の大切さを学びました。

★児童の感想（一部）

- ・いのちの始まりは、針の先くらいから始まって10か月経つと、3キロ近くまで大きくなるそうです。お母さんは大変だったと思います。命を大事にしなければと思いました。



### 3 関係者が連携しての授業

|     |                                                                                |
|-----|--------------------------------------------------------------------------------|
| 目 的 | 学校との関わりを通して、福祉を学ぶ学習の機会を増やし、子どもの福祉のこころの醸成や大人の福祉のこころの再学習を図り、地域における世代間交流の助長に取り組む。 |
| 期 間 | H25.7～H26.2                                                                    |
| 場 所 | 甲府市立伊勢小学校                                                                      |

【7月12日 「じゃがいものおやつ作り」】

○協力者 地域の方たち（食生活改善推進員） ○参加者 つくしひまわり学級児童8人

学級児童が耕作したじゃがいもを材料にして、児童と一緒におやつ作りをして、一緒に食べながら、レシピの説明や「食べ物体をつくる」などの話をし、世代間の交流を図りました。



【7月17日 「認知症サポーター小学生養成講座」】

○協力者 甲府市南地域包括支援センター 千野大介センター長

○参加者 6年生55人 地域の方32人

認知症高齢者に対して「思いやりのこころ」を育むために南地域包括支援センターの千野センター長を講師として、「福祉のこころ」の醸成を図りました。さらに、地域の方30人余りが児童たちと一緒に受講し、福祉のこころの再学習をしました。

★児童のこぼ（一部）

- ・認知症の人への接し方など学んだことを忘れず、おじいちゃん、おばあちゃんにやさしくしたいと思いました。

★地域の方

- ・自分の父親が認知症だったが、理解できなかったのが、よく怒った思いがあります。皆さんは、今日勉強して認知症と言う病気についての知識を得たので、やさしく接してほしいと思いました。



#### 【10月31日 「昔のおやつ作り」】

○協力者 食生活改善推進員・女性部愛育会 ○参加者 4年生52人

1組、2組に分かれて、地域の方たちと一緒に「さつまいも入り蒸しパン」を作り、一緒に食べながら「昔のおやつ」は田畑でとれるものが多く、健康な身体づくりに役立ったことなどを話し、世代間の交流を図りました。

##### ★児童の感想（一部）

- ・地域の方たちがつくり方をわかりやすく教えてくれて楽しかったです。
- ・今のおやつと違って、昔のおやつは自分たちでも作ることが出来ました。



#### 【平成26年1月31日 「昔のあそび」】

○協力者 伊勢・住吉地区老人クラブ ○参加者 1年生50人

地域の方たちとけん玉・コマ・めんこ・はねつき・お手玉・竹とんぼ・あやとり・だるま落としなど日本に伝わる昔の遊びをして、世代間交流を行いました。

##### ★児童の感想（一部）

- ・おじいちゃんやおばあちゃんたちが、昔のおもちゃでいっぱい遊んでくれて楽しかったです。
- ・今まで遊んだことのないおもちゃばかりで最初は難しかったけど、出来るようになってうれしかったです。



#### 【2月25日 「地域の昔と昔の道具」】

○協力者 丸山秀雄さん ○参加者 3年生52人

伊勢町で生まれ育って今日に至っている81歳の丸山さんから、戦前の地域や伊勢小学校の様子をお聴きしました。戦時中は食糧も何もなく、食べたくても食べられない、勉強したくても紙がない、そんなつらい不自由な体験をしたことや、昔の道具の話を聞いて、地域（伊勢町）の昔の様子や生活（道具を含む）を学びました。

##### ★児童の感想（一部）

- ・自分たちの町の昔の様子が分かって大変勉強になりました。
- ・地域の昔の人たちのつらい体験を知ることができて良かったです。
- ・今日は、自分が住んでいる町の歴史を知ることができました。

## 4 1年を振り返ってみて（成果及び課題等）

「生命」の授業も「福祉のこころの醸成」授業も各々の事業（授業）に対しての児童達の感想を聞くと、児童達は授業内容を純粋に吸収し、それなりの心構えが芽生えた事は大きな成果であり、本事業の目的が達せられたものと思います。

当地区社協としても本事業を実施したことにより、取り組むべき分野（対象）の開拓ができ、地域だけでなく学校との連携が深まったことは大きな成果でした。

# 甲府市ボランティアセンターの紹介

## \* 甲府市ボランティアセンターとは \*

甲府市ボランティアセンターは、「ともに生き、ともに支えあうまちづくり」を目指し、広く市民にボランティア活動の実際を周知するとともに活動の拠点として、ボランティア活動に関する広報・啓発と情報の収集・提供などの推進事業を掲げ、基盤整備の充実を目指して、ボランティア活動への参加のきっかけづくり、また参加者の技術や知識・得意分野などを地域で生かせる仕組みづくりのお手伝いをしています。

## \* 運営の仕組み \*

甲府市ボランティアセンターは平成6年4月1日に甲府市により設置され、甲府市社会福祉協議会によって運営されています。

## \* ボランティアについての相談・登録・紹介 \*

「ボランティア活動をしたい人」、「ボランティアの協力を必要としている人」といった方々やグループ等からの相談を受け、コーディネートをします。

## \* 活動の基盤づくりへの援助 \*

- ・ ボランティア、NPO団体への支援
- ・ 高齢者疑似体験学習の指導と機材の貸し出し
- ・ ボランティア活動機材の貸し出し  
(車いす、白い杖、アイマスク、紙芝居、積木セット、絵本など)
- ・ 小、中、高校の福祉教育学習への協力
- ・ ボランティアグループの会議や活動の場としてボランティアビューローの開放
- ・ ボランティア活動中の万一の事故に備えて各種保険への加入窓口



### ＊ボランティア活動の情報収集や情報の提供＊

- ・ボランティア情報誌「甲府市ボランティアだより」の発行（年２回）
- ・ボランティアボード及び新聞等でのボランティア情報の提供
- ・「ホームページ」や「まごころ（こうふ社協だより）」での情報提供
- ・「甲府市ホームページ」や「広報こうふ」でのボランティア情報の提供

ホームページアドレス：<http://www.kofu-syakyo.or.jp/>

甲府市社会福祉協議会のホームページよりアクセス願います

### ＊育成・研修ボランティア講座の開催＊

- ・福祉への理解、知識を深めるための各種ボランティア講座開設  
（講座を終了された方々がグループを作る際のお手伝いもします。）

### ＊使用済み切手・牛乳パック・ペットボトルキャップ・不用入れ歯等収集の窓口＊

取りまとめてそれぞれの引き取り手にお渡しします。

＊生活の中での身近なボランティア活動にご参加ください＊





# 甲府市ボランティアセンター実施事業の紹介

## ふれあいチャレンジフェスタ (中・高校生と障がい児・者ふれあい交流会)

チャレンジフェスタは、障がいのある方もない方も、共に楽しい1日を過ごすことを目標に毎年開催しているイベントです。主に障がいのある方は、日頃の練習の成果を舞台上で発表し、中学生・高校生には、自分たちで企画した内容（おもちゃ作り、輪投げ等）でブースの運営を担当していただいています。ステージを見たり、ブースで一緒に遊んだり、1日中楽しむことのできるイベントです。

**ステージ発表をしていただける学校、ブース運営に協力していただける学校を募集しています！**



【去年の様子】



## ボランティア交流会・ボランティア博

甲府市社会福祉協議会・甲府市ボランティア団体連絡協議会、甲府市内大学交流ネットワークの三者共催によるボランティア活動の啓発イベントを開催します。



❖お問い合わせは甲府市ボランティアセンターまでお願いします❖

# 福祉講話講師の紹介

次の方を講師としてご紹介しています。

○肢体不自由者（車椅子使用）……車椅子での歩行困難な方の生活実態

○視覚障がい者（盲導犬同伴）……目が不自由な方の生活実態と盲導犬の役割

○聴覚障がい者（手話）……耳が不自由な方の生活実態と、手話を用いてのコミュニケーション方法

○環境教育支援団体……環境について考える

○災害・防災ボランティア団体……被災地での支援・現状、災害、防災についての日頃の備えなどを学ぶ

○ボランティア活動実践者……障がいのある女の子と妹、その母親とのユニット等  
(障がいを乗り越え音楽を通してのボランティア活動)

☆講師の紹介については、甲府市ボランティアセンターへご連絡ください。

☎ 223-1061

# ☆高齢者疑似体験セットの紹介☆

## ♥ 3つの目的

### 1 高齢者の心を推察する。

グッズをつけることによって、手足が上げにくかったり、屈伸ができなくなったりします。また、耳が遠くなり、目もかすみ、見えにくくなります。そうした身体機能の低下を体感することを通して、高齢者の心理状態を推測したり、高齢者を理解したり、気持ちを汲み取るための一助とします。

### 2 介助者の役割を理解する。

疑似体験をしてみると、介助される側、介助する側にも個人差があることに気が付きます。疑似体験では、高齢者や介助者の役割を通して、介助者としてどのようにサポートするのが適切なのか、自分なりのノウハウを見つけるきっかけとします。

### 3 バリアフリーの環境づくりを推進する。

疑似体験を通して、「高い位置に設置された信号機や時刻表は見えにくい」、「自動販売機に硬貨を入りにくい」などといったことがわかんと思います。この体験をもとに、バリアフリー、ユニバーサルデザインの社会環境づくりを推進していくための方策を見つけていきます。また、高齢者に優しい商品やサービスの開発にも役立てていきます。

## ♥ 疑似体験の流れ

### 体験に臨む際の注意点・心構え

体験に挑む際の注意点としまして、重りをつけた手足を無理やりに動かしても意味がありません。それでは単なるストレッチ体操になってしまいます。

高齢者疑似体験セットは、あくまでも自分が80歳や90歳になったときの心身の状況を体験するものです。「80歳や90歳になった」という自己暗示をかけて臨むことが大切です。なお、介助者は基本的には自立支援を目的とするので、体験者に必要以上に手を出さないことが大切です。

一方、観察者は「体験者の様子はどうか」、「介助の仕方は適切か」などをしっかりと観察し、後ほど助言すると共に体験時間の調整を図ります。



メ モ

Handwriting practice lines consisting of 24 horizontal dashed lines.

福祉ボランティア活動実践校事業及び  
地域ぐるみボランティア活動推進事業活動集  
(市社協指定実践校・指定地区社協)

—平成25年度—

平成26年5月 発行

社会福祉法人

甲府市社会福祉協議会

甲府市ボランティアセンター

〒400-0857 山梨県甲府市幸町15-6

TEL・FAX 055-223-1061

E-MAIL:k-vc@kofu-syakyo.or.jp

※この活動集は、赤い羽根共同募金配分金により作成しました。